

平成24年12月 6日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第二部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成24年11月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成24年11月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

| 年 月 | 平成 23 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 611 | 493 | 863 | 738 | 645 | 643 | 584 | 720 | 617 | 744 | 721 | 456 |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 71,791 | 65,614 | 102,934 | 106,089 | 91,504 | 72,784 | 70,070 | 86,419 | 68,855 | 65,476 | 73,015 | 50,117 |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 157,862 | 159,773 | 161,785 | 163,794 | 165,636 | 167,644 | 169,764 | 173,298 | 175,640 | 177,820 | 180,145 | 181,877 |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 35,725 | 36,498 | 32,152 | 33,195 | 34,799 | 36,317 | 39,932 | 38,851 | 37,526 | 39,751 | 36,029 | 37,888 |

| 年 月 | 平成 24 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 508 | 652 | 638 | 485 | 522 | 596 | 396 | 412 | 404 | 482 | 539 | |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 53,593 | 78,387 | 112,254 | 80,325 | 83,691 | 100,449 | 84,479 | 81,991 | 78,794 | 83,547 | 105,437 | |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 184,260 | 186,877 | 189,570 | 192,007 | 194,315 | 196,680 | 199,051 | 201,086 | 203,125 | 204,938 | 206,375 | |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 37,732 | 36,935 | 39,034 | 41,341 | 43,321 | 42,495 | 43,576 | 43,005 | 42,796 | 41,718 | 41,219 | |

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

<11月次の概況>

11月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=79円台後半で取引が始まり、米国のいわゆる「財政の崖」問題に対するリスク回避の動きから一時79円台前半にまで円高が進展する局面があったものの、14日に野田首相が衆議院解散の意向を表明した以降、日銀への金融緩和圧力が高まるとの思惑等から一転して円安基調で推移し、82円台半ばで月末を迎えました。その間の米ドル/円の変動率は、月の半ばに比較的急ピッチで円安が進展した結果、平成24年2月から6月にかけての水準には及ばなかったものの、平成24年7月以降最大となる水準にまで回復しました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、概ね円安傾向での相場推移となりましたが、変動率については通貨によってまちまちとなり、米ドル/円を含めた全体としての変動率は平成24年9月並みの水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月と比べ変動率が上昇したことに加え、円安の進展に伴うポジションの組替・再構築等の動きがあったことから、前月比約26%増加の105,437百万通貨単位となりました。一方、営業収益は、米ドル/円等相対的に取引高当たり収益率の低い取引の割合が増加したことから、前月比約12%増加の539百万円となりました。また、顧客基盤については、費用対効果を重視した広告宣伝活動等により顧客口座数が前月比1,437口座増加の206,375口座となったほか、外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの預託金は増加したものの金融法人顧客による余剰預託金の出金等により前月比499百万円減少の41,219百万円となりました。

以 上